

3キロ越えの梨でるか！？

## 第21回ジャンボ梨コンテスト



J Aあいち豊田梨部会（豊田市／部会長：川上<sup>かわかみ</sup> 義喜<sup>よしき</sup>）の栽培する豊田市特産「愛宕梨」の出荷開始に合わせ、毎年大きな反響を呼んでいる「ジャンボ梨コンテスト」を11月9日（火）、豊田市公設地方卸売市場で開催します。

愛宕梨は2011年にギネス世界記録 2,948 グラムを記録した梨でこの記録は現在も当部会の部会員が保持しています。

このコンテストは部会員の生産技術・生産意欲の向上が目的です。最近は核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの愛宕梨を中心に生産していますが、部会員はコンテストの優勝に向け通常の出荷基準に比べ、より大きな愛宕梨を生産しようと、春先からの農作業に力をいれています。



▲昨年は2,968グラム、  
胴回り58.5センチの梨が優勝

なお、コンテスト優勝の梨の競りについては同市場と調整中です。

取材日時 令和3年11月9日（火） 午前6時～

午前6時～

ジャンボ梨コンテスト

午前6時30分～

コンテスト表彰式

（豊田市長、JA組合長出席予定）

午前6時50分～

競り ※調整中

場 所 豊田市公設地方卸売市場（豊田市高崎町兼近70）

審査：梨の重量で順位を決めます。同じ場合は胴回りのサイズが大きいもの。

各賞：愛知県知事賞、豊田市長賞、JAあいち豊田組合長賞、愛知県果樹振興会長賞

JAあいち経済連会長賞、JAあいち豊田梨部会長賞

※コロナ感染拡大予防対策として、当日受付にて「貴名受け」「受付名簿」への署名お願いいたします。

### 《令和3年 JAあいち豊田梨部会の概要》

- ・部会長：川上義喜<かわかみよしき> ・栽培農家(部会員)：豊田市猿投・上郷地区の43人
- ・栽培面積：27ヘクタール ・出荷量：今年は全品種で約400トン予定
- ・栽培品種：愛甘水・幸水・あきづき・愛宕など8品種

### 《愛宕梨について》

愛宕梨は果肉が柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。サイズは通常でも約1キログラムもあります。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品としても人気です。同部会では26人の農家が2.765ヘクタールで栽培し、今年は36トンの出荷を見込んでいます（昨年は38.68トン）。出荷は11月上旬から12月上旬まで。JA選果場直売所などで購入できます。

お問い合わせ先：JAあいち豊田 営農部 猿投営農センター 選果場

住所：豊田市四郷町森前187番地 担当：岡本・中野

TEL (0565) 46-2217 FAX (0565) 43-2031